『小津安二郎監督作品特集』映画上映会のご案内



日亜外交関係樹立 120 周年を記念し，当館，国際交流基金，ブエノスアイレス市立サンマルティン劇場及びアルゼンチン映画財団の共催により，**「小津安二郎監督作品特集」**を**8 月 11 日（土）～19 日（日）**まで，サンマルティン劇場レオポルド・ルゴーネスサロンにて開催いたします。

世界の映画史において，最も偉大な映画監督の一人である小津安二郎は，その 40 年近いキャリアの中で，50 本以上の作品を生み出しました。他方，これまで一握りの小津監督作品の上映会はございましたが，まだその多くは，映画愛好家の間でさえ，未知の領域を残し続けています。日本から送られた 9 作品から成る（国際交流基金，松竹及び角川が作成したデジタル・リマスター版 4 作品（DCP）を含む）本上映会は，その知られざる部分に光を当てるのみならず，若い世代の皆様にも同監督の作品を広く知って頂くための企画となります。是非，この機会をお見逃しなく。

会　場　サンマルティン劇場 10 階レオポルド･ルゴーネス･サロン（Av. Corrientes 1530, CABA）

期　間　2018 年 8 月 11 日（土）～19 日（日）

入 場 料　40 ペソ（一般），20 ペソ（学生，定年退職者）

★「宗方姉妹」，「小早川家の秋」は入場無料

● 8 月 11 日（土）　**早　春**　（開始時間 / 14:00, 17:00, 20:00）

（1956 年，145 分，DCP / 主演：池部良，淡島千景，岸惠子）

昭和 30 年代，戦後新世代の生活感を取り入れつつ，倦怠期の夫婦の危機と，それを乗り越える様子をシリアスに描いたドラマ。

● 12 日（日）　**浮　草**　（開始時間 / 16:00, 18:30, 21:00）

（1959 年，119 分，DCP / 主演：中村鴈治郎，京マチ子）

宮川一夫撮影による美しいカラー映像で，三重県志摩半島の小さな港町を舞台に旅役者の世界の情緒を描いた名作。1934 年に自身が制作した『浮草物語』をリメイクした感動ドラマ。

● 13 日（月）　**生 れ て は み た け れ ど**　（開始時間 / 16:00, 18:30, 21:00）

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón, Bouchard 547 15-piso, CABA, TEL.4318-8240
centro-info@bn.mofa.go.jp / https://www.facebook.com/Emb.jp.ar

（1932 年，100 分，35mm ／ 主演：斉藤達雄，吉川満子）

小津監督のサイレント期を代表する作品。子供の素直な視点から，肩書きに振り回されるサラリーマン社会の悲哀をユーモアを織り交ぜ描く。

● 14 日（火） **風の中の牝鶏**（開始時間 ／ 16:00，18:30，21:00）

（1948 年，84 分，16mm ／ 主演：田中絹代，佐野周二）

小津の終戦後第 2 作。太平洋戦争後の東京を舞台に，夫の復員を待つ妻が生活に困窮し，子供が病気をしたことで金のために一度だけ過ちを犯したことから，戻ってきた夫のみならず妻自身も苦しむ物語。

● 15 日（水） **晩春**（開始時間 ／ 16:00，18:30，21:00）

（1949 年，108 分，35mm ／ 主演：原節子，笠智衆）

キネマ旬報ベストテン第 1 位。本作以降，小津作品でしばしば登場する結婚を巡る父と娘の物語を，これが初となる笠智衆と原節子の共演で描く感動作。

● 16 日（木） **宗方姉妹** ★（開始時間 ／ 16:00，18:30，21:00）

（1950 年，112 分，35mm ／ 主演：田中絹代，高峰秀子）

小津安二郎が松竹を離れ，はじめて新東宝で製作した作品。日本の伝統的な価値観を大事にし，ニヒリストめいた夫に耐え続ける姉と，そんな姉に反発する現代的な妹の対比を通して，戦後の日本の家庭の崩壊を描く。原作は大佛次郎。

● 17 日（金） **お茶漬の味**（開始時間 ／ 16:00，18:30，21:00）

（1952 年，115 分，DCP ／ 主演：佐分利信，小暮実千代）

第 74 回ヴェネチア国際映画祭クラシック部門出品作品。生まれも育ちも価値観も異なる夫婦が，感情の機微の食い違いに悩みつつ，和解するまでを描く。乗り物，娯楽，食など，昭和 20 年代当時の風俗をふんだんに盛り込む。

● 18 日（土） **東京物語**（開始時間 ／ 14:00，17:00，20:00）

（1953 年，136 分，DCP ／ 主演：笠智衆，原節子）

2012 年，英国映画協会発行「サイト・アンド・サウンド」誌にて，世界の映画監督 358 人が選ぶ最も優れた映画 1 位に選出された日本映画を代表する傑作の 1 本。小津監督が戦後変わりつつある家族の関係ををテーマに，人間の生と死までをも見つめた深淵なドラマ。

● 19 日（日） **小早川家の秋** ★（開始時間 ／ 16:00，18:30，21:00）

（1961 年，103 分，35mm ／ 主演：中村鴈治郎，原節子）

昭和 36 年度芸術祭参加作品。京都の伏見にある造り酒屋「小早川」は，当主が年老いたこともあり，娘婿に引き継がれていた。小津が松竹ではなく，東宝で監督した唯一の作品。

COMPLEJO TEATRAL DE BUENOS AIRES

fca Fundación Cinemateca Argentina

Centro Cultural e informativo de la Embajada del Japón

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón, Bouchard 547 15-piso, CABA, TEL.4318-8240
centro-info@bn.mofa.go.jp / https://www.facebook.com/Emb.jp.ar